

エンゼル幼稚園ランゲージポリシー

Our Mission

「子ども達のチャレンジ精神や思いやりの気持ち、
他の人との協力性を育みます。」

Our Vision

「生き物を思いやり、知識ある真の国際人
を生涯に渡って育てられるコミュニティ
を創って行きます。」

目的

エンゼル幼稚園のランゲージポリシーは、幼稚園でどのように言語に取り組んでいるかを明確にするためのポリシーです。コミュニケーション力を発達させるために、先生達がランゲージを意識して教えます。導入の際に、このポリシーは全ての先生達で作りました。基準を合わせることで、先生達の教え方を統一できるので、園児(学習者)に同じ成長の機会が与えられます。この方針で、園児に言語のさらなる発展と理解の機会を与え、共通の目標へ先生が一緒に向かっていくことができます。

エンゼル幼稚園におけるランゲージの定義

エンゼル幼稚園の言語の目的は、他の人とコミュニケーションすることだと考え、感情やアイデアや意見を表現することです。人はそれぞれ異なるので、私たちのアイデアや意見が必ずしも同じではないことを言語を通して認識し合います。他人の価値観を尊重することが重要であり、これらの考えを伝えることによって、人間関係と理解を生み出すことができます。また、言語には共通性と多様性の両面があり、それが私たちの生活に不可欠な部分であると認識しています。

言語には様々な形があります。話す、聞く、読む、書く、歌う、描く、楽器を弾く、ボディーランゲージ、アイコンタクトなど、他のも含めてこれらはすべて私たちのコミュニケーションの方法です。さまざまな形で意味を表現することによって、園児は様々な方法でコミュニケーションを取る機会が得られます。子どものウェルビーイング(健康と幸福)をサポートするために、園児は自分の考えを伝えるときに快適に言語を使えると感じられる機会を持つことが重要です。私たちが相互理解を深めるため、言語を解釈するのに役立つスキルを開発することも同様に必要です。

日本語

エンゼル幼稚園での主な言語は日本語です。日本語の発達はエンゼル幼稚園の課程に重要な科目です。以下の点を通して(これらに限らず)日本語の教育を行います:

- コラボレーション、サークルタイム、会話
- 行事
- アート
- 読み書き
- JSL(第二言語としてレッスンをを行う)
- ICT

コラボレーション

子どもは大きなグループまたは小さなグループでコラボレーションをする機会があって、オープンマインドなコミュニケーターとして口頭で話し合います。その中で子ども達はシンカーとして質問をしたり答えたり、アイデア、考え、好み、感情と気持ちを表現したりします。子ども達は日常生活を通して、友だち、先生やコミュニティと会話して日本語を発達させます。

行事

エンゼル幼稚園の行事では、様々な言葉や表現を他の学びの中で出てこないものも学んでいきます。例えば、日本の文化や、身近なコミュニティのエキスパート(保護者、警察、消防署など)を招待して子どもの社会的な知識と身近なコミュニティのためにできることについて学びます。オープンマインドとプリンシプルドになるために、この経験を通して、子どもたちは私たちのコミュニティにとって大切な価値観や言葉を学びます。

アート

私たちは、アートも言語を発達させるツールであると思っています。アートを通して様々な経験を振り返ります。こうすることによって子どもは様々な方法で日本語に対する理解をアートと読み書きで表現します。

歌

日本語を学ぶために歌を歌うことを大切にしています。エンゼル幼稚園では伝統的な歌や現代的な歌も歌います。子どもは歌に現れる表現と言葉を学びながら、歌の意味と何でその歌を歌うのかを考えます。こうすることによって、子どもの日本語の発達を促します。

本

各部屋や図書室にたくさんの本があります。本で豊かな環境を作ることによって、子どもがレジャーのため、探求のために本を読むことができます。本は子ども1人でも、友達や先生と一緒に読むことができます。読み書き(文字、数字、シンボル)のスキルと口頭のスキルを発達させるために、本を読むことが大事だと思っています。子どもは本を読むことによってインクワイヤーとノレジャブルになります。

ICT

ICTを通して探求を進むことがあり、その中で言語も発展させます。園児はアイコンやICTに関する言語について学びます。

第一言語

また、エンゼル幼稚園は子どもの母国語を認識するのも重要だと考えています。これは、書籍、歌、コミュニティの関心など、様々な手段によって達成されます。包括的なプログラムが不可欠なので、日本語と母国語の両方の使用を推奨する自然な学習環境を作り、外国人の話し手をサポートします。学習コミュニティは、以前に申し上げた様々な形の言語を通して相互作用することができます。言語理解をサポートするために、ゆっくり話したり、優しい言葉に言い換えたり、場面に応じた適した言葉を用います。

日本語や英語ができない場合は、ナチュラルアプローチを通して日本語と英語を教えながら、母国語をサポートします。エンゼル幼稚園は日本の幼稚園であるため、主に使われている言葉は日本語ですが、英語にも触れます。日本語が母語ではない園児のためにJSL(日本語は第二言語)のクラスを行います。コミュニティは、以前申し上げた方法と、更に写真、行動、タイトル(見出し)、復習と強調を用いサポートします。私たちは言語に対する動機を養成することは大事だと考えています。

International mindedness(国際感覚)が園児にとって不可欠であるというのも私たちの信念です。私たちの世界をより良い場所にしようと努力する人になるよう、彼らをサポートします。したがって、それに伴う言語とその関係と理解は、エンゼル幼稚園のミッションとビジョンに向けた重要なステップです。

英語

エンゼル幼稚園は、子ども達がオープンマインドとコミュニケーターとして国際社会に加わるのが重要だと考えているため、英語は私たちのコミュニティの一部です。様々な言語で考えることが、認知機能と言語スキルを向上させるのに役立つことを認識しています。必要なときに日本語でサポートをしながら英語で英語を教えています。日本語が主ですが、国際的なコミュニケーションができる人になるために、英語も使って教科の枠を超えた学習のサポートを行います。また、英語は教室だけでなく、教室外でも定期的に使われ、自然に会話をすることで先生は園児の語学学習を支援します。子どもが合理的にコミュニケーションが取れるよう期待を持ちながら、チャレンジさせることを目指しています。

また、英語の能力をさらに伸ばすために、希望者は課外課程に参加することもできます。エンゼル幼稚園では、選択授業として英語授業を行います(English for Speakers of Other Languages **ESOL**)。ESOLは保育時間外に行う英語習得のサポートです。このプログラムは、卒園した小学生も受けることが可能です。

保護者の関わり

保護者の関わりは園児の学びにとって不可欠であると私たちは信じています。保護者は、園児が学んでいることとその進歩について様々なコミュニケーション手段を通じて伝えられます。保護者は、どの言語を使用すべきかを理解し、園児とのコミュニケーションを図る際に用います。これは、園児と保護者の両方の学びがさらに発展する機会であり、コミュニティ全体のサポートになるからです。

これがエンゼル幼稚園のランゲージポリシーです。